

日本中国語学会第 60 回全国大会プログラム

2010 年 11 月 13 日(土), 14 日(日)神奈川大学

I. 前日 11 月 12 日 (金)

17:00~19:00 理事会 (1 号館 3 階 1-301 会議室)

II. 第 1 日 11 月 13 日 (土)

10:30~12:00 評議会 (1 号館 3 階 1-308 会議室)

12:00~ 受付 (16 号館 1F 入口)

13:00~ 開会式 (16 号館 2F セレストホール)

開会の辞

開催校代表 伊坂青司

挨拶

日本中国語学会会長 平田昌司

13:10~13:15 学会奨励賞授与・経過報告 (16 号館 2F セレストホール)

編集委員長 木津祐子

13:15~16:45 シンポジウム「中国言語学の新潮流」(16 号館 2F セレストホール)

招待講演

(1) 「词序变化与语法化：“把”字句的历史演变」(発表言語：中国語)

Chaofen Sun (Stanford University)

(2) 「The Morphology of Chinese – A Linguistic and Cognitive Approach」

(「現代中国語の構詞法 — 言語学的認知科学的研究 — 」発表言語：英語(日本語訳付))

Jerome Packard

(The University of Illinois at Urbana-Champaign)

(3) 「自然语言逻辑的多种研究模式」(発表言語：中国語)

邹崇理 (中国社会科学院)

※各講演の後に約 10 分間質疑応答を行います。

16:15~17:45 ポスターセッション (16 号館地下視聴覚ホールB)

17:00~18:00 総会 (16 号館 2F セレストホール)

18:15~20:15 懇親会 (19 号館地下 LUX(ラックス)ホール)

III. 第 2 日 11 月 14 日 (日)

8:30~ 受付 (23 号館 1 F 入口)

9:30~12:10 分科会研究発表 午前の部 (23 号館 2 F)

12:10~13:10 昼食・休憩 (23 号館 2 F)

13:10~16:20 分科会研究発表 午後の部 (23 号館 2 F)

ポスターセッション(11月13日)

会場(16号館地下視聴覚ホールB) 16:15~17:45

1. 『自由潮』の言語について 首都大学東京 落合守和
2. 當代台灣大学生口語中「然後」的談話以及篇章功能 国立成功大学 陳麗君
3. 從隱喻發展模式論「突然」和「忽然」的異同關係 東海大学中文系 陳莉嫻
4. 中文话题标志之一“吧”的语义分析 東北大学(院) 房志新
5. 内部移動表現の日中対照研究——<~进>と「~こむ」を中心に 東京外国語大学(院) 張志凌
6. 現代中国語における特殊な受身構文の意味と論理構造
—「把…被…」構文及び「被…把…」構文を例として— 麗澤大学 温琳
7. “有”構文の“有”の性質について お茶の水女子大学(院) 新沼雅代

分科会研究発表(11月14日)

<1前>音韻部会:第1会場(23号館 23-204教室) 9:30~12:10

1. 『玉篇』脂之韻舌齒音の分化について 大阪大学 澤田達也
2. “水”の字音から 京都大学 平田昌司
3. 原始寧徳方言古音構擬—m/-p尾韻部分 愛媛大学 秋谷裕幸
以上司会 青山学院大学 遠藤光暁
4. 「声調調値変化の環流」説への批判について 平山久雄
5. 丹陽方言における陰去単字調の拡張について 山梨大学 平田眞一郎
以上司会 金沢大学 岩田礼

<1後>音韻部会:第1会場(23号館 23-204教室) 13:10~16:20

1. 台北市閩南語的語音變異與變化 新竹教育大学 陳淑娟
2. 过渡地带方言的语音特征
—以并州片、吕梁片、汾河片的中介方言为中心 同志社大学(院) 中野尚美
以上司会 神戸市外国語大学 太田斎
3. 『華英通用雜話』の表音法と『華英通語』 京都産業大学 矢放昭文
4. J・レグ編 *Lexilogus* に記される粵語音 東京大学 吉川雅之
5. UCB所蔵『訓鷹備考』所収「語録解」について 関西大学 玄幸子
以上司会 松山大学 増野仁

〈2前〉歴史語法部会：第2会場（23号館 23-210教室）9:30~12:10

1. 中国近世語の介詞“與、和、同”に関する考察 新潟大学 干野真一
2. 近世口頭語資料における「原因・理由」の表し方 大東文化大学 荒木典子
3. 試論「并」的起源與用法 国立清華大学(院) 蘇政傑
以上司会 大阪市立大学 岩本真理
4. 差比句的嬗变 ——从“X不如Y(Z)”到“X没有YZ” 同志社大学 王周明
5. “V+個+VP”述賓結構的歷時考察 台湾師範大学 郭維茹
以上司会 神戸市外国語大学 佐藤晴彦

〈2後〉歴史語法部会：第2会場（23号館 23-210教室）13:10~16:20

1. 上古中国語における非現実モダリティマーカ―の“其” 東京大学(院) 戸内俊介
2. 上古漢語指示詞「此」と「是」の機能差異—『孟子』の用例を中心に—
北海道大学(院) 山田大輔
3. 漢語指示詞的語法化 文藻外語学院 趙靜雅, 国立清華大学 連金發
以上司会 首都大学東京 小方伴子
4. 從《史記》、《宋書》、《魏書》動詞同義聚合比較論南北朝詞彙異同
台湾・東海大学 周玟慧
5. 時点を問う疑問代詞について 大阪市立大学 梁淑珉
6. 清末から辛亥革命前後における解剖学用語——東西身体思想の視点より
立教大学 松本秀士
以上司会 関西大学 内田慶市

〈3前〉教育部会：第3会場（23号館 23-205教室）9:30~12:10

1. 声調弁別のための自習と授業の連携による指導とその効果 早稲田大学 孫琦
2. 声調转折之协调策略:以台湾华语为例
国立清華大学(院) 陈威戎, 国立清華大学(院)黄婷
3. 自律的発話能力の育成を基盤とする中国語基礎教育の試み
——focus on form による語法教育の導入と関係について 成蹊大学 湯山トミ子
以上司会 富山大学 山田眞一
4. 日本人大学生の中国語「コミュニケーションストラテジー」に関する一考察
松山大学 曲明
5. コミュニケーション創出に寄与する教室内 Chat と発話支援者および教材の役割
拓殖大学 鄭偉, 中央大学 植屋高史, 日本大学 谷川栄子, 早稲田大学 砂岡和子
以上司会 琉球大学 石崎博志

〈3後〉現代語法部会(1)：第3会場（23号館 23-205教室）13:10~15:50

1. 量詞研究と形容詞生成のメカニズム 早稲田大学 楊達
2. 閩南語認知動詞「識」bat⁴ 的多重語法功能：經驗式融合
国立清華大学(院) 蕭景峻, 国立清華大学(院) 張群

3. 試論台灣客家語動詞謂語句與判斷有關的情態詞 —以“有”和“會”為例—
筑波大学(院) 張桂珠
以上司会 同志社大学 沈力
4. 中国語の“人家”の諸相について—話し手の使用意図からみる諸用法の特徴を中心に—
追手門学院大学 辻周吾
5. 建構詞彙語意知識庫與語言教學策略的多元文化思考
：以「網路展書讀」網站語言文化教學設計為例 元智大学 羅鳳珠, 早稻田大学 砂岡和子
以上司会 関西大学 山崎直樹

〈4前〉現代語法部会(2)：第4会場(23号館 23-209教室) 9:30~12:10

1. 上海語の“勁太~噢”の成立過程について——「制止」から「感嘆」への意味拡張——
東京大学(院) 李佳樑
2. 中国語の“太~了”構文とシベ語の“dawele ~ oXui”構文から見る話し手の事態認定の諸相
東京大学(院) 児倉徳和
3. 小説『四世同堂』中「了₁」、「了₂」的分布
松山大学 孟子敏
以上司会 中京大学 張勤
4. 現代中国語の色彩語とメタファー—下位概念化の認知意味論的考察— 神奈川大学 彭国躍
5. 台灣閩南語視覚動詞「看」的多功能性
国立清華大学 王小梅
以上司会 中央大学 遠藤雅裕

〈4後〉現代語法部会(3)：第4会場(23号館 23-209教室) 13:10~16:20

1. 正反疑問文と是非疑問文の反語用法について お茶の水女子大学(院) 石井友美
2. 仮定接続詞の有無と談話機能
東京大学(院) 長谷川賢
3. 現代中国語における「是」の指示詞性と主題の提示
慶應義塾大学(院) 橋本陽介
以上司会 東京大学 楊凱榮
4. 台灣閩南語與共通語雙賓擴展式之方言對比研究
国立清華大学(院) 胡佳音
5. 移動表現としての中国語二重目的語構文
関西学院大学(院) 苞山武義
6. 客語給予句與目的句在構式語法中的連結關係
国立新竹教育大学 黃漢君
以上司会 筑波大学 佐々木勲人

〈5前〉現代語法部会(4)：第5会場(23号館 23-206教室) 9:30~12:10

1. 中国語の方向移動動詞—語彙統語構造(l-syntax)のアプローチからの分析—
東京大学(院) 李冠賢
2. 方向補語“开”の意味的ネットワークについて
京都外国語大学 島村典子
3. 台灣閩南語中“予”的補償性延長
国立清華大学(院) 陳伯青
以上司会 愛知大学 荒川清秀
4. “V好”の意味機能について——〈完成義〉顕在化メカニズムの解明——
北海道大学(院) 楊安娜

5. 從詞彙與構式看客語「好」字之多義情態功能

臺灣行政院國科會人文學研究中心 強舒嫩, 國立政治大學 賴惠玲
以上司會 二松學舍大學 石村広

〈5後〉現代語法部會(5)：第5會場 (23號館 23-206教室) 13:10~16:20

1. 中国語の可能補語の否定形式—先行動詞の動作の否定をめぐって—
東京外國語大學(院) 福田翔
2. 再試析“動+得+形”狀態補語句中的“得”字及“動+得”
關西外國語大學 吉田泰謙
3. 能性述補式“V不着zháo”表義務情態義的語義形成機制
東京大學(院) 毛興華
以上司會 靜岡大學 今井敬子
4. 台灣海陸客語的動結述補結構
中央大學 遠藤雅裕
5. 明清閩南語文獻和現代閩南語「完」oan⁵的語法演變：語料庫為本的分析
國立清華大學(院)張群, 國立清華大學(院)蕭景峻
6. 論閩中三明方言中幾個後綴的語法功能及其來源
中央研究院語言學研究所 吳瑞文
以上司會 熊本學園大學 石汝杰

〈6前〉現代語法部會(6)：第6會場 (23號館 23-208教室) 9:30~12:10

1. 台灣南部客家話的兩個處置標記「tung¹¹(同)」和「gan(□)」
神戶夙川學院大學 田中智子
2. 客語「敢」字之語法功能演變與語意探究
國立政治大學 葉秋杏, 國立政治大學 賴惠玲
3. 閩南語敢問句的語義和語用
國立新竹教育大學 劉秀雪
以上司會 大阪大學 杉村博文
4. 台灣閩南語情態詞“通”的語意探索：以構式為本
國立清華大學 連金發
5. 臺閩語情態詞「通」和「e⁷tang⁷」的比較研究
國立清華大學(院) 蘇建唐
以上司會 東京外國語大學 望月圭子

〈6後〉現代語法部會(7)：第6會場 (23號館 23-208教室) 13:10~16:20

1. 漢語必然性知識模態詞初探：以「一定」和「肯定」為例
國立清華大學(院) 蕭佩宜
2. 從信息領屬看現代漢語絕對程度副詞
北京大學(院) 野田寬達
3. 中国語の推論証拠性表現
東北大學(院) 吳蘭
以上司會 東京大學 小野秀樹
4. 「N1+的+N2」と他動詞対格殘存受身文—日本語との相違を兼ねて
關西學院大學(院) 熊仁芳
5. コーパスに基づく名詞修飾構文の機能差に関する日中対照
東京大學(院) 西原史暁
6. 大陸と台湾における指示詞の対照研究—“這・那”の距離認識の相違について—
神奈川大學(院) 鈴木進一
以上司會 東京外國語大學 三宅登之

分科会タイムスケジュール

	第1会場 23-204	第2会場 23-210	第3会場 23-205	第4会場 23-209	第5会場 23-206	第6会場 23-208
司会	遠藤光暁	岩本真理	山田真一	張勤	荒川清秀	杉村博文
9:30～10:00	澤田達也	千野真一	孫琦	李佳樑	李冠賢	田中智子
10:00～10:30	平田昌司	荒木典子	陈威戎	児倉徳和	島村典子	葉秋杏
10:30～11:00	秋谷裕幸	蘇政傑	湯山トミ子	孟子敏	陳伯青	劉秀雪
司会	岩田礼	佐藤晴彦	石崎博志	遠藤雅裕	石村広	望月圭子
11:10～11:40	平山久雄	王周明	曲明	彭国躍	楊安娜	連金發
11:40～12:10	平田真一朗	郭維茹	鄭偉	王小梅	強舒嫩	蘇建唐
12:10～13:10	昼食・休憩					
司会	太田斎	小方伴子	沈力	楊凱榮	今井敬子	小野秀樹
13:10～13:40	陳淑娟	戸内俊介	楊達	石井友美	福田翔	蕭佩宜
13:40～14:10	中野尚美	山田大輔	蕭景峻	長谷川賢	吉田泰謙	野田寛達
14:10～14:40		趙靜雅	張桂珠	橋本陽介	毛興華	吳蘭
司会	増野仁	内田慶市	山崎直樹	佐々木勲人	石汝杰	三宅登之
14:50～15:20	矢放昭文	周玟慧	辻周吾	胡佳音	遠藤雅裕	熊仁芳
15:20～15:50	吉川雅之	梁淑珉	羅鳳珠	苞山武義	張群	西原史暁
15:50～16:20	玄幸子	松本秀士		黄漢君	吳瑞文	鈴木進一

※ 共同発表の場合には、筆頭発表者のみを表示してあります。

※ 1発表あたりの持ち時間は、発表 20分、質疑応答 10分です。定時進行にご協力下さい。

●参加登録方法

同封の振替用紙により、お近くの郵便局から**10月29日(金)**までに必要経費をお支払い下さい。

振込先：口座番号	番号	00270-6-134903
加入者名	名前	日本中国語学会第60回全国大会準備会

※事務処理の都合上、11月2日(火)には口座を閉鎖致しますのでご了承下さい。当日参加も承りますが、円滑な大会運営のため事前登録にご協力下さい。

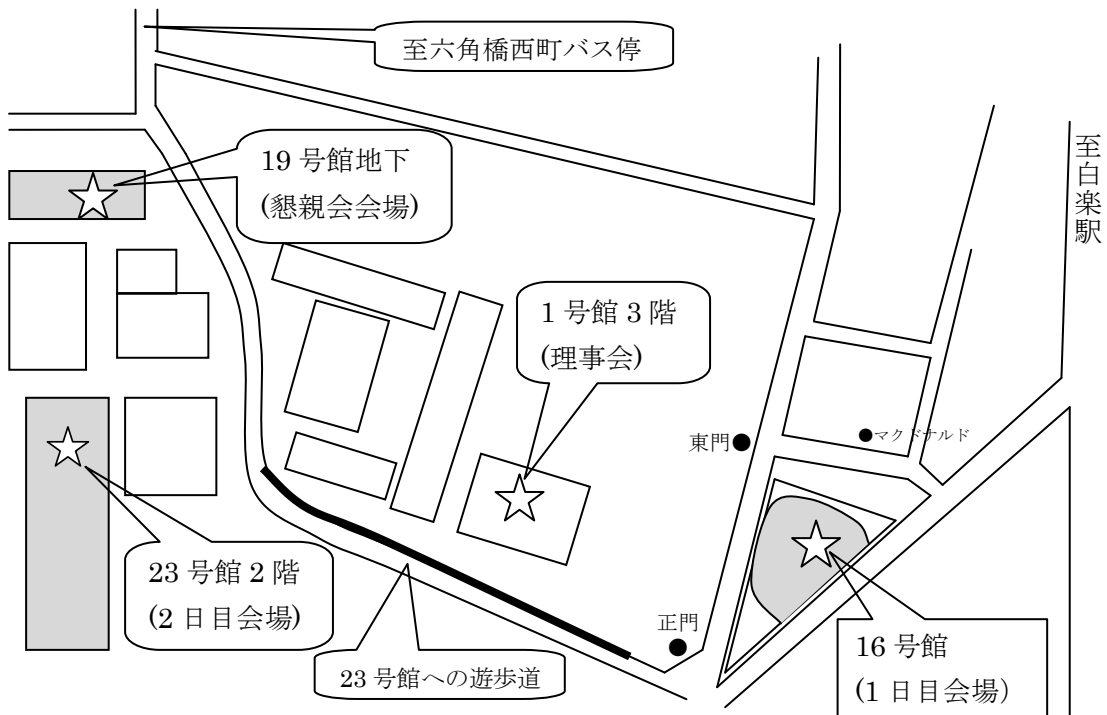
(1) 参加費 (予稿集代を含む)		3,000 円
(2) 11月13日(土) 懇親会費	一般	4,000 円 (当日 4,500 円)
	院生・学生	3,000 円 (当日 3,500 円)
(3) 11月14日(日) 昼食(弁当)代		1,000 円

※会場周辺の飲食店は土日で休んでいることもあります。お弁当の注文をお勧めします。

※参加登録された方で当日参加されなかった場合、参加費等の返金は致しかねます。但し、「予稿集」は後日お送り致します。

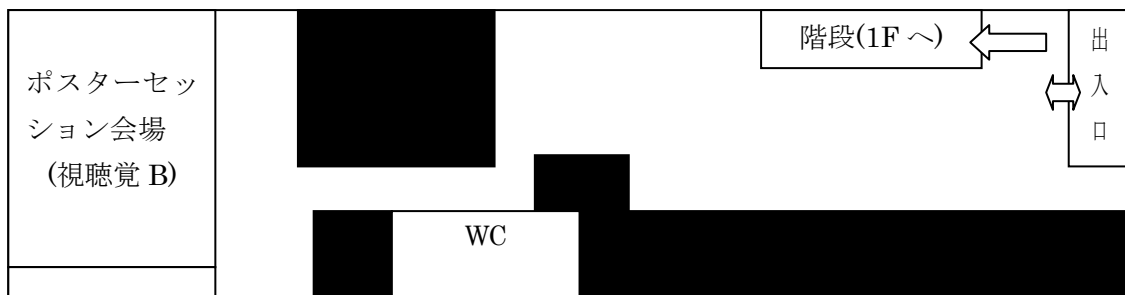
※追加の「予稿集」は、11月14日(日) 13:00より1,500円で受付にて販売致します。また、「予稿集」の購入のみご希望の方は、送付先住所を明記の上、準備会までご連絡下さい。送料着払いでお送り致します。但し、売り切れの際にはご容赦ください。

【会場（16号館・23号館・19号館）周辺配置図】（上が北）

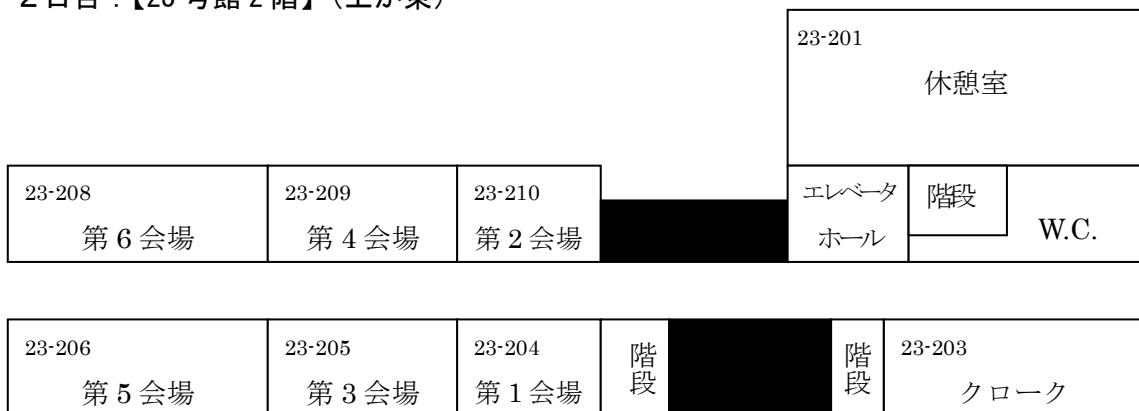


【ポスターセッションおよび分科会会場配置図】

1日目：【16号館地下】（上が北）



2日目：【23号館2階】（上が東）



神奈川大学までの交通のご案内

神奈川大学の最寄り駅は東急東横線「白楽(はくらく)」駅です。白楽駅には特急・通勤特急・急行は停車しませんので、くれぐれもご注意ください。

「白楽」駅までのアクセス

- 横浜駅から東横線をご利用の際は、「各停(各駅停車)」(渋谷行き)にご乗車下さい。
- 渋谷発の東横線特急・通勤特急・急行(みなとみらい線直通、元町・中華街行き)をご利用の場合は、「菊名」駅で「各停」にお乗り継ぎ下さい。
- 東海道新幹線をご利用の場合は、「新横浜」でJR横濱線に乗り換え、「菊名」駅で東横線の「各停(みなとみらい線直通、元町・中華街行き)」にお乗り換え下さい。
- ※「新横浜」駅で横浜市営地下鉄ブルーライン(湘南台行き)に乗り換え、「片倉町」駅を経由するルートもありますが、「片倉町」駅から会場までは徒歩で約20~25分を要するため、バスまたはタクシーのご利用をお勧めします。
- 航空機をご利用の場合は、空港から鉄道またはバスで横浜に移動し、横浜駅で東横線にお乗り換え下さい。

横浜キャンパスまでの略図

■横浜キャンパス所在地
横浜市神奈川区
六角橋 3-27-1
045-481-5661(代)

※会場および受付は初日と2日目で異なります。

※初日会場と2日目会場はおおよそ300m離れています。

※駐車場がありませんので、
自家用車の利用はご遠慮ください。

**2日目会場：23号館
(神奈川大学図書館裏手)**

**初日会場：16号館(セレストホール)
(向かいにマクドナルド神奈川大学店)**

初日会場までの所要時間

- 白楽駅から
徒歩で約13分(約1km)
- 横浜駅西口バスターミナルから(東神奈川駅西口経由)
【1番乗場 36系統】菅田町/緑車庫行
もしくは【1番乗場 82系統】八反橋/神大寺入口行(先払210円)
「神奈川大学入口」下車(約14分)、その後徒歩で約5分(約400m)
- 横浜駅西口タクシー乗り場から
所要時間：約10分(運賃：1,000円程度)
- 片倉町駅前(横浜市営地下鉄)から
【2番乗場 36・82系統】東神奈川駅西口/横浜駅西口行(先払210円)
「神奈川大学入口」下車(約7分)、その後徒歩で約5分(約400m)
- 新横浜駅前から
タクシーで17分(運賃：1,500円強)

2日目会場までの所要時間

- 白楽駅から
徒歩で約17分(約1.3km)
- 横浜駅西口バスターミナルから(東神奈川駅西口経由)
【1番乗場 36系統】菅田町/緑車庫行
もしくは【1番乗場 82系統】八反橋/神大寺入口行(先払210円)
「六角橋西町」下車(約14分)、その後徒歩で約5分(約300m)
- 横浜駅西口タクシー乗り場から
所要時間：約10分(運賃：1,000円強)
- 片倉町駅前(横浜市営地下鉄)から
【2番乗場 36・82系統】東神奈川駅西口/横浜駅西口行(先払210円)
「六角橋西町」下車(約7分)、その後徒歩で約5分(約300m)
- 新横浜駅前から
タクシーで17分(運賃：1,500円強)

※バスやタクシーの所要時間・運賃はあくまで目安です。

■白楽駅から会場までの順路

初日会場まで：

- ① 六角橋商店街を下り、六角橋交差点を横断。
- ② KFC(ケンタッキー・フライド・チキン)と眼鏡店の間の細い路地に入る。
- ③ つきあたり(川美せんべい店)を左折。
- ④ 30m先を右折、理容店のある十字路へ。
- ⑤ 十字路を左折、約200m直進。
- ⑥ コインパーキングとパン屋のある三叉路で右手の道の上ると正面に16号館が見える。(ここまで約13分)

2日目会場まで：

2日目会場の23号館へは16号館を右手に坂を正門まで上がり、正門左手の遊歩道を直進し、横断歩道を渡って移動する。正面奥に見えるグレーの8階建てのビルが23号館。(ここまで約17分)